

産経新聞 2018年(平成30年)11月26日(月)

### 格別だった祖父の焼きいも

大学生 高森奈緒 21

この時季の味覚といえば  
サツマイモで、大好きだっ  
た祖父との思い出がある。  
田舎で暮らしていたと  
き、毎年サツマイモ掘りを  
いっしょにやってくれたの  
だ。畑はとても広く、何日  
も続けて、サツマイモ掘り  
ができた。どんなテレビゲ

ームよりも、楽しい遊びの  
ひとつだった。  
「おいもほり、いこか」  
という祖父のかけ声に、嫌  
だった宿題もすぐに済ませ  
て、畑まで走っていった。  
収穫後の一番の楽しみ  
は、サツマイモでつくる焼  
きいもだった。

今ではめずらしいまきス  
トープを使用した。祖父の  
つくる焼きいもは、ほん  
とに格別だった。1、2本ぐ  
らいは、ペロりと食べてし  
まった。今でも思いますが、  
なつかしくも大切な味だ。  
そろそろ冬も本格化して  
きた。祖父の写真の前で、  
いも掘りを思い出しながら、  
大きな焼きいもを味わ  
いたい。(奈良県葛城市)

※無断転載不可